

2026年3月17日

各位

エンデバー・ユナイテッド株式会社

弊社メンバーのインタビュー記事掲載に関するお知らせ

週刊高齢者住宅新聞 3月11日号の「投資ファンドに聞く」という特集記事において、弊社のマネージングディレクター中原がインタビューを受けましたので、お知らせいたします。

<掲載記事>

週刊高齢者住宅新聞 3月11日号(836号)1面

『投資ファンドに聞く～介護・障害ホームに投資 ケア難易度・ニーズの高さ注目』

以上

介護経営者向け情報紙
——在宅から施設、周辺産業まで——

週刊 高齢者住宅新聞

Elderly Press Newspaper

2026年
3月11日

第836号 毎週水曜日発行

(株)高齢者住宅新聞社
東京都中央区銀座 8-12-15
03-3543-6852 (編集部)
発行人 網谷敬敏
年間購読料 23,100 円

介護・障害ホームに投資

エンデバー・ユニテッド・ケア難易度・ニーズの高さ注目

投資ファンドのエンデバー・ユニテッド(東京都千代田区)は2025年12月、関西を拠点に高齢者と障害者が同一ホームで暮らす事業モデルを展開するCLAN(大阪市)に投資を開始した。社内体制の強化や拠点拡大で企業価値向上を目指す。中原慎一郎マネージングディレクターにインタビューした。

投資ファンドに聞く



エンデバー・ユニテッド 中原慎一郎マネージングディレクター

——投資の決め手は何でしたか

中原 CLANは、介護と障害福祉を融合した「ハイブリッドモデル」を確立しています。住宅型と介護付有料老人ホームには3割ほど障害者が入居し、知的・精神・身体など多様な障害に対応。入居している高齢者向けには訪問介護などのサービスを、障害者向けには居宅介護のみならず、生活介護も併せて提供している点特徴的です。

児童発達支援や就労継続支援なども展開しています。事業の柱

は居住施設です。

重度の障害者を受け入れるモデルは参入障壁が高く、社会的意義も大きいです。収益面でも、障害者向けの居宅介護は高齢者に比べ多くのサービス提供量が見込めるため、安定性が高いと判断しました。

——障害分野の参入障壁が高いのはなぜでしょうか

中原 機械式入浴設備などの物理的整備に加え、障害特性に応じた個別性の高いケアが必要な点です。画一的なケアが志向されやすい高齢分野と比較しても、より個性に深く踏み込んだ上で、ライフステージに合わせた長期的支援が求められます。居住施設に加え生活介護などの通所サ-

ビスを二気通貫で整備し、地域で活動的に暮らせる環境を構築する必要があり、ノウハウは一朝一夕では得られないものです。そして地域との信頼関係が強く求められます。利用者の家族は、ホームを選ぶ際「このホームに任せてよいのか」厳しく見えています。既存利用者からの紹介で入居を決めるケースも多く、地域での支援実績やブランド力が重要になります。CLANは特に大阪府で、居住系をはじめ生活介護

や就労継続支援事業などを一連で展開しており、地域でのブランド力を構築できています。

——収益はどのように拡大していきますか

中原 既存施設で障害者比率を高めつつ、年間5棟程度のペースで

投資先企業概要	
CLAN	居住系サービス
	●住宅型有料老人ホーム：21棟
	●介護付有料老人ホーム：8棟
	障害福祉サービス
	●生活介護事業所：14カ所
	●放課後等デイサービス：4カ所
	※生活介護事業所併設
	●就労継続支援事業所：1カ所
	●就労移行支援事業所：3カ所

年間5棟ペースで拡大 コンプライアンス強化

新設を目指します。当面は大阪エリアなどブランドが定着した地域が中心。兵庫県や京都府では通所などのサービス網が未整備なため、生活介護事業所の新設から始め、信頼構築を優先し慎重に進めます。

——収益拡大のほ

か、バリエーションアップはどのような切り口で行いますか

中原 もともと同社の経営陣は稼働率や利益管理への意識が高く、重度利用者の方が多い中でも空室率を予測する体制を整え、稼働率95%を維持してきました。

当社が経営支援することで、ガバナンスを一段階ブラッシュアップし、コンプライアンスを強化できると考えています。加えて財務報告のレベルを上場企業の水準まで高め、持続可能な経営体制をつくり、企業価値の底上げを図ります。当社が人員が非常勤の取締役を務め、CFOとなる経営人材も外部から招聘する予定です。

——業界の将来性をどう見えていますか

中原 一般的な介護は高齢者のピークアウトや報酬抑制で厳しさを増しますが、重度者に特化した障害・介護にまたがるモデルは別だと考えています。こうした人の居場所はないのニーズとして存在し、依然として課題です。

市場の健全化への意識が高まる中、CLANのように難易度の高さに正面から向き合い、誠実かつ組織的に対応できるプレイヤーへの期待はますます高まるでしょう。同社業界の新たなスタンダードを構築するフロントランナーに育てていきたいと考えています。